

地域コミュニティ機能等

- ・ 小学校はこれまで地域住民にとって愛着があり、地域コミュニティの場として重要で大切な役割を果たしてきたことを踏まえ、地域コミュニティ機能として、どのように地域貢献できるのかを具体的に記載してください。
- ・ 地域住民及び地域団体等による施設利用に際しての動線や鍵の開閉対応、地域住民等の活動に対するセキュリティ対応について記載してください。
- ・ 事業予定者として選定以降、事業運営の準備段階も含め、運営期間中に行う地域住民及び地域団体等との連携方法や、まちづくり活動についての情報発信について記載してください。
- ・ 活用事業による周辺エリアとの繋がりによる地域活性化や周辺エリアへの波及効果について記載してください。

地域活動・イベント（地域交流・異文化交流）

(1) 既存の地域活動・イベントの継続

- ・ これまで小学校を利用して実施されてきた、盆踊り大会はじめいくつかの地域活動に関しては、継続して実施できるよう十分に配慮します。利用に関する詳細に関しては、過去の運営方法をベースに、運営協議体の中の「地域交流・イベント会議」で協議し、定めていきます。
- ・ 地域住民の方が主体となって実施する地域行事やレクリエーションへ、当校の生徒や教職員、さらには父兄も積極的に参加いたします。地域住民とのふれあいや交流を通して、生野区の歴史・文化・産業・自然を理解することができます。異文化の理解、受容に繋がるとともに、海外への情報の拡がりも期待できます。
- ・ 地域住民及び地域団体などが施設を利用する際の動線（出入口）や鍵の開閉方法に関しては、これまでの運営方法を踏襲することを基本に、開業前までに連絡協議体の中で協議、決定します。また、地域住民などの活動に対するセキュリティ対応についても、従来の「本人確認のうえ入口の電子錠を解錠する」方法を踏襲する形で、こちらも開業前までに、運営協議体で地域の要望を含め協議、決定してまいります。

(2) 当校主催のイベント（異文化交流の場の提供）

- ・ 現在、当校では1)ソフトバレーボールトーナメント、2)ジャパニーズ・カルチャー・デー（日本文化の日）、3)インターナショナル・チルドレン・フェスティバル（国際子ども祭り）の3つのイベントを開催しており、今後も継続してまいります。
- ・ これらのイベントは地域の方々にも開放し、参加していただくことによって、より一層親近感が高まるものと考えます。異文化の交流により異文化を理解する絶好の機会となり、多文化共生のまちづくりに大いに貢献すると思われまます。

(3) 近隣の小中学校との交流

- ・ 近隣の小学校や中学校とは、双方の負担にならない範囲で、スポーツやレクリエーションなどを通じた交流会を開催し、児童や教職員、さらには父兄がお互いの文化を理解する場として、草の根的な多文化共生の活動を実践していきます。また、課外活動やクラブ活動の交流も積極的に取り組んでいきます。
- ・ 学芸会や展覧会などのイベントへも、双方の子どもが観覧したり、鑑賞できる場を作り出してまいります。音楽や美術などの分野でも、相互に連携、交流することで異文化の理解に繋がっていきます。

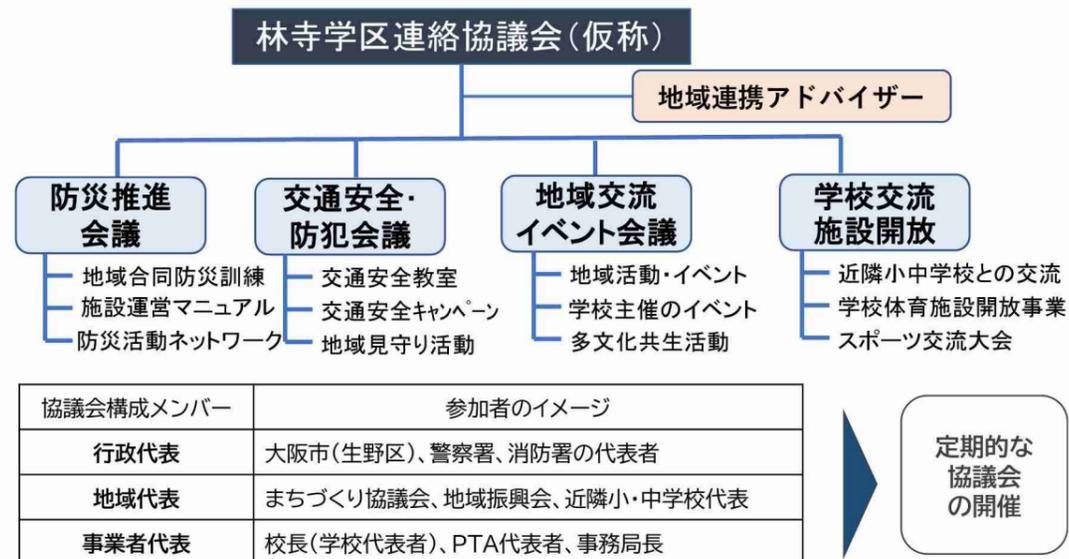


異文化交流・多世代交流



地域コミュニティ機能等

地域連携体制（運営協議体の設置）



- ・原則としてこれまでの防災機能や地域コミュニティ機能は、継続してまいります。地域との連携をより緊密にしていくために、行政と地域、さらには事業者の三者で「林寺学区連絡協議会（仮称）」を組織化し、定期的（年2回程度）に施設運営について協議、検討していきます。
- ・地域連携アドバイザー（仮称）職を設け、生野区等の公立学校の校長などの経験者に委嘱します。地域連携に関する助言をいただくとともに、近隣の学校との交流や行政や地域住民との連携に向け、関係者間の調整役を担っていただきます。
- ・協議体の中には、「防災推進」「交通安全・防犯」「地域交流・イベント」「学校交流・施設開放」の分科会を設置し、それぞれの分野ごとにテーマを定め、より良い運営のあり方について協議、決定していきます。

交通安全教室



クリーンハイク

